

地域の農地を守り楽しい農業の実現へ向けて



西伯郡南部町

後継者 雑賀智之

継承者 雑賀敏之

1, 楽しい農業とは

常に現状に満足する事なく失敗を恐れず挑戦し続け持続可能な経営で安定した収入を得る事

2, 自己紹介・就農に至るまでと現在

R2年2月に就農し今年で就農3年目となる[]生まれの[]歳です。自分と妻と子供が2人、そして父と母の6人家族で暮らしています。就農前は、普通の会社員として20年間勤めました。会社で農家さんと接する事も多く、話をするうちに農業への興味がわいてきました。当時とても気になっていた事があり、南部町から境港市までの通勤途中で目に入る草木が茂る耕作放棄地です。この耕作放棄地はどうにもならないものか?とっていました。その頃父は担い手の無い農地を借り受け米作りをしていました。自分はほとんど手伝いをした事はありませんでしたが、草刈り作業を手伝いでした時になって大変な作業なのかと思いました。父と母も[]歳を過ぎこれから体への負担は大きくなっていくだろうと思ひ、自分がこれから農地を守っていくと決め、就農にいたりました。就農1年目は父の管理していた圃場を手伝う形で言われた通りに作業しました。R2年12月からは親元就農支援事業を活用し、計画を作成のうえ2年間は親元(父と母)で農業研修を行いました。家族で農作業のルールを決める中で、就農2年目は自分なりに工夫をして管理しやすいよう圃場を改良したり、水管理の徹底など考えながら作業に臨みました。さらに就農前に気になっていた耕作放棄地(南部町)2haを水田に戻す事ができました。そして3年目は自分で経営をしたいと考えるようになり、家族で話し合いを繰り返しR5年1月より事業を継承する事となりました。楽しい農業を実現する為、自分が就農してから現在まで感じた事を元に現状、課題、改善策、計画・目標をまとめました。

3, 現状

(1)生産・経営面積

就農当初から見ると経営面積が約1.5倍になっています。

経営面積(a)	R2	R3	R4
水稲作付	1200	1600	2200
作業受託	850	722	722
合計	2050	2322	2922

作業受託(a)	R2	R3	R4
耕起	110	60	60
代掻き	204	116	116
田植え	274	286	286
収穫	262	260	260
合計	850	722	722

(2) 所有機械稼働状況

経営面積の増加に合わせて機械を更新してきました。

	R2	R3	R4	R4 稼働状況

(備考) R4 年現在稼働所有機について



(3) 労働状況

田植え、稲刈り時期のみ臨時雇用があります。

労働力	続柄	年齢	年間従事日数(日)
雑賀敏之	父	■歳	278
雑賀智之	本人	■歳	278

4. 課題と改善策

楽しい農業を実現する為には、専業で農業を続けるための経営規模の確保や個人に頼らない体制の強化、農地や機械などの経営基盤の有効利用を図るための作業効率の向上など様々な課題が山積しています。特に農繁期に多用するトラクターの効率的な運行は、分散する圃場が多い中で限られた期間内に作業を進めるうえで大変重要になっています。

(1) 規模拡大への対応

(課題)

現在、■■■■で作業をしていますが、とくに3～5月は圃場整備、耕運、草刈り、あぜ塗り、代掻きと作業が重なります。作業によってトラクターの後ろに着ける機械が異なる為、違う作業をする場合は圃場から車庫に戻り機械を付け替えまた圃場に戻らなければなりません。遠い圃場であればトラクター運搬、作業機械付け替えで2時間は掛かり非効率的です。さらに、■■■■では馬力の違いにより取り付けできるロータリーの幅の差が40cmあり作業スピードも違う為50a/日も作業能率に差がでています。■■■■で同じ面積をしようと思うと、作業時間が長くなり作業後の圃場管理等に使える時間が少なく、とても効率の悪い状態となっています。さらに現在、■■■■ですが、共に1日に1.5haの作業能率でそれ以上の時間を作業するとトラクターと同様に圃場管理や作業準備の時間が無くなってしまっています。

(改善策)

現在所有の53馬力トラクターと同馬力帯を1台導入し、作業機械を2台で同じ大きさの物にする事により1日の可能作業面積を増やす事ができます。春の耕運作業は約60日間続きますが天候不良で半分の30日間しか作業できなかったとしても、従来の作業差 $50a \times 30日 = 15ha$ の作業が追加で可能となります。さらに、高効率のロータリーは稲わらなどのすき込み性能が良く、1回の耕運で純正ロータリー2回分の耕運と同等の仕上がりとなる為、導入する事で年間3回していた耕運を2回に減らす事が可能となり、トラクターや作業機械への負担を軽減や燃料費、メンテナンス費の削減を図ります。[]は主にローダー作業(圃場整備)、あぜ塗り作業、補助作業等として使用します。3台のトラクターで作業を分散させる事により作業が滞る事を防ぎ、作業者の移動だけで違う作業が可能となるので広範囲の圃場でも効率の良い作業ができます。

田植え機とコンバインは共に2台体制にする事で従来の2倍の1日に3haの作業が可能となり、規模拡大に対応し圃場管理や準備等への時間も多く使えるようになります。

(2) 作業者の高齢化への対応

(課題)

現在、主に自分と父が大半の作業を担当しています。父も年齢を重ねるにつれて作業が辛くなってきたと言うようになりました。父が急に今までのように動けなくなる事も考えられる為、今後の経営に作業員不足の不安があります。現在受け持っている圃場管理と今後の規模拡大を考えると早急に安定した人財確保が必要です。

(改善策)

農の雇用を活用し農業経験、未経験者問わずあいさつが出来て他人への思いやりのある人財を常時雇用として受け入れます。現在、臨時雇用している68歳男性も引き続き雇用し安定した経営体制を整えます。

(3) 分散圃場への効率的な対応

(課題)

現在、南部町(52%)、米子市(44%)、伯耆町(溝口4%)の圃場を管理しています。溝口[] [](付近)までトラクターで自走すると往復1時間程度、米子市[](保育園付近)までで往復50分程度の時間が掛かります。米子市[]の[](保育園付近)の圃場に行く為には国道181号線を横断する必要があり車の交通量も多く危険です。コンバインはさらに時間が掛かりますし、田植え機は公道を走行する事ができません。よって、機械の自走での移動は時間効率も悪く危険も伴う為、離れている圃場へは積載車で運搬となります。しかし所有の積載車は2トンまでの積載量で規模拡大に伴い大型化した機械(トラクター約2.5トン、コンバイン約3トン)に対応できていません。運搬を委託する方法もありますが、繁忙期には委託先と予定が合わない事が多く適期での作業や受託作業への臨機応変な対応ができません。

(改善策)

大型機械に対応した積載車を導入し作業効率の向上と安全確保を図ります。

(4)管理環境の悪い圃場への対応

(課題)

耕作放棄地だった圃場には池の水を用水として使用して管理しているものがあります。水を出す時間も限られ水の量も年によって変動が大きい為、田植え前後の管理に労力をとられます。さらに耕作放棄地だった圃場の畦畔からの水漏れは深刻で修繕するにもかなりの費用と時間が必要です。しかし、米価が下落し安定しない現状から考えると費用はなるべく抑えたい状況ですので農地を違う形で活用する必要があります。

(改善策)

環境や社会情勢に対応できる経営構造を検討し、水稻に捉われない土地利用型の複合型農業経営を構築します。当面、水稻から麦への転作を計画します。周辺地域で麦の生産に取り組む(株)福成農園と連携し、作付・管理作業以外の収穫・調整・出荷を委託するなどの生産体制の構築に取り組みます。

(5)水稻反収改善

(課題)

R3年に[]を導入しましたが、データの活用が不十分でまだまだ感覚に頼った作業になっています。当然感覚も重要ですが今の状態では今後の新規雇用者への伝達が難しく、作業が明確になっていない為に作業効率の低下が考えられます。

(改善策)

水稻収穫後、年度内に圃場ごとのデータを見える化し、次年度の施肥量を決定しスマート農機トラクターや田植え機との連携での施肥管理を実施し米の増収へつなげます。さらに無駄な肥料購入を防ぎ経費を削減し所得の向上と安定を図ります。データは作業者全員で共有することにより作業効率向上も期待できます。

5. プラン目標・計画 R4~R7年

(1)規模拡大

農業委員会と連携し、南部町内、特に会見地区で農業後継者不足に悩む地域の農地の利用集積に取り組めます。

水稻 22ha → 31ha

(2)水稻反収アップ

食味収量コンバインによる圃場ごとの食味データを生産管理システムで(KSAS)で集積することにより、次期作の施肥の適正化を図ります。

反収 420kg → 460kg

(3)人財確保

農の雇用を活用し農業経験、未経験者問わず事業主体で人財を確保します。

R6年 常時雇用 1人

目標	R4	R5	R6	R7
(1) 規模拡大	22ha	25ha	28ha	31ha
(2) 水稻反収アップ	430 kg	440 kg	450 kg	460 kg
(3) 人財確保	臨時雇用1人	臨時雇用1人	常時臨時雇用各1人	常時臨時雇用各1人

6. 具体的な導入効果

(1) 経営の安定

- ・作業の効率化により規模拡大への対応が可能となり、所得向上が期待できます。
- ・常時雇用の受け入れにより担い手を確保し安定した持続可能な経営につながります。
- ・管理環境の悪い圃場の転作活用により安定した作業計画と収入が見込めます。
- ・スマート農機の活用により効率的な施肥設計で水稻反収アップと経費削減が期待できます。

(2) 地域の農地を守る

圃場間の効率的な移動で担い手のいない地域の農地を受け入れ耕作放棄地になる事を防ぎます。

大規模経営(法人等)になると、圃場管理(草刈り・水管理等)がおろそかになっているという話が各地の個人農家さんから出ています。地元の農家さんの信用はとても大切です。そのような事が無いよう常時雇用を受け入れ機械を効率良く使用し、圃場管理等の時間を確保する事が本当の意味で農地を守る事につながると考えます。

(機械導入計画)

年度	導入機械		導入効果
R4	トラクター(60馬力級スマート農機)×1台		作業効率向上により規模拡大に対応
	アースロータリー(220cm幅)×2台		耕運精度向上によりコスト減が可能
R5	サイバーハロー(410cm幅)×2台		作業幅拡大により時間短縮が可能
	積載車(3.5t積クラス)		様々な適期作業が可能
R6	田植え機(6条植えスマート農機)×1台		2台同時作業が可能となり規模拡大に対
	コンバイン(4条刈りスマート農機)×1台		
R7 機械稼働計画	トラクター	60馬力(スマート農機)・53馬力・34馬力 の 3台体制	
	田植え機	6条植え(スマート農機)×2台 の 2台体制	
	コンバイン	4条刈り(スマート農機)×2台 の 2台体制	

(トラクター稼働計画)

○…稼働トラクター

月	時期	作業内容	R4現在	R5		
				34馬力	53馬力	60馬力
1月	全般	圃場整備		○		
2月	全般	圃場整備		○		
3月	全般	耕運			○	○
	全般	圃場整備		○		
4月	全般	草刈り			○	
	全般	耕運			○	○
	上旬	圃場整備		○		
	下旬	草刈り			○	
5月	下旬	あぜ塗り		○		
	全般	代掻き			○	○
	上旬	耕運			○	○
6月	上旬	あぜ塗り		○		
	上旬	代掻き			○	○
7月	全般	草刈り			○	
8月	全般	草刈り			○	
9月	全般	草刈り			○	
10月	全般	耕運			○	○
11月	全般	耕運			○	○
12月	全般	圃場整備		○		

(備考)トラクターが3台体制になり同じ月の中で1台あたりの作業が2つ以上重なる事がなくなります。

(生産目標)

計画(a)	R3実績	R4	R5	R6	R7
水稲作付	1600	2200	2500	2800	3100
作業受託	722	722	800	900	1000
転作(麦)	0	0	140	140	140
合計	2322	2922	3440	3840	4240

水稲銘柄(a)	R3実績	R4	R5	R6	R7
コシヒカリ	351	644	700	750	800
ひとめぼれ	181	210	250	250	250
きぬむすめ	682	732	800	850	900
星空舞	391	614	700	750	800
飼料用米	0	0	50	200	350
合計	1605	2200	2500	2800	3100

平均反収(kg)	R3実績	R4	R5	R6	R7
主食用米	420	430	440	450	460
飼料用米	0	0	530	540	550
麦	0	0	250	280	320

(R6～7労働力計画)

労働力	続柄	年間従事日数(日)	従事内容
雑賀智之	本人	270	水稻・麦生産管理、事務管理
雑賀敏之	父	150	水稻・麦生産管理
			水稻・麦生産管理
			田植え・水稻収穫補助

7, 具体的な取り組みと役割分担

取り組み項目	R4	R5	R6	役割分担
規模拡大	○	○	○	事業主体・中間管理機構
水稻反収アップ	○	○	○	事業主体・JA
人財確保	○	○	○	事業主体
機械導入				
トラクター60馬力×1台	○			県・町・事業主体
アースロータリー×2台	○			県・町・事業主体
サイバーハロー×2台		○		県・町・事業主体
積載車3.5トン積み×1台		○		県・町・事業主体
田植え機6条植え×1台			○	県・町・事業主体
コンバイン4条刈り×1台			○	県・町・事業主体

8, 支援事業の内容

年度	項目	事業費	(千円・税込)		事業主体
			県 個人上限3,000千円	町 個人上限1,500千円	
R4	トラクター 60馬力 1台	8,000	2,666	1,334	5,770
	アースロータリー 2台	2,270	334	166	
R5	サイバーハロー 2台	3,240	570	280	5,270
	積載車 3.5トン積み	7,300	2,430	1,220	
R6	田植え機 6条植え 1台	3,200	3,000	1,500	7,700
	コンバイン 4条刈り 1台	9,000			